

## 部 会 報 告

# ISO/TC 127/SC 1/WG 18 (ISO 3164 たわみ限界領域(DLV) 改正) 国際作業グループ パリ西郊国際会議

標準部会

## 1. 概要

### ●会議名

ISO/TC 127/SC 2/WG 18 (ISO 3164 たわみ限界領域(DLV) 改正)

### ●開催地

フランス国パリ西郊(デファンス地区隣接)クールブ  
ヴォア市 Maison de la Mécanique (機械会館) 会議室

### ●開催日

平成 22 年 9 月 30 日(木) 10:00 ~ 15:40  
(10月2日の交通機関ストライキが発表されたため、  
10月1日は中止)

### ●出席者

米国 4: Tim West (John Deere社), Chuck  
Crowell, Dan Roley (Caterpillar社),  
Steve Neva (韓国斗山/BOBCAT社)

ドイツ 1: Peter Winkler (BGBau ドイツ土木建  
設職業保険組合)

日本 1: 出浦 淑枝 (コマツ)

計 6 名 (敬称略)

- コンビナー (WG 主査) 兼プロジェクトリーダー (以下 PL): 前記 Roley 博士 (Caterpillar 社),

## 2. 主要議題, 議決事項, 特に問題となった 点及び今後の対応についての所見

### (1) 審議結果

BOBCAT, John Deere, Caterpillar, コマツとも現  
行 DLV が不適切なために重大事故に到ったというデー  
タはない。ドイツでも, 死亡事故はシートベルト未装着  
のため, オペレータが車外に投げ出されたことが主要因。

#### ① ISO 3411:2007 (=JIS A 8315) との整合確認

- ・小柄なオペレータは座席を最も前方位置で固定した  
状態で, DLV を確保できねばならない。
- ・最新ヘルメットは厚さ 50 mm に満たないので, 高  
さを低くできる。
- ・着座時は直立でなく, 前傾または後傾しているはず  
なので, 高さを低くできる。

#### ②座席調整がないか, 小さい機械における課題

- ・座席の前後調整幅が小さい機械において, DLV が  
確保できないという課題は, 10 年前にも議論され  
ているが, 未解決のまま現在に到っている。  
(本件, 日本の, ミニショベルなどでも特に小形のもの,  
小旋回タイプのものなどの実情に基づき検討要)

#### ③補助席では DLV を傾ける

- ・傾き 16 度は問題ない。オプションとする。

#### ④ DLV 頭部, 肩, 膝に丸みをつける (ISO/DIS 13459 補助席参照)

- ・テスト装置の材質により困難な場合も予想されるの  
で, オプションとする。FOPS テストでは天井面  
が極小となり不都合という指摘が出たので, 以下の 2  
案が出たが, A 案を採用。A) FOPS テスト時は従来  
DLV 相当のプレート天井面として置く, B) SIP を  
中心に半径 890 mm の円弧を描き, 頭部形状に代える。

### (2) 今後の予定

PL は DLV に小柄オペレータと大柄オペレータを  
重ね描きした図を作成する。

～ 11 月 1 日 PL は CD 案を作成する。

～ 12 月 1 日 WG メンバーコメント

～ 1 月 1 日 PL は CD を完成する。

～ 1 月 2 日 CD 投票開始(～ 4 月 15 日)付記: 実際  
には 12 月 30 日投票開始, 期限 3 月 30 日

4 月 11 日 次回 WG @ミュンヘン(4 月 3 日～ 8 日  
ISO/TC 127 ベルリン総会にあわせて)

### (3) 次回へ向けて

本件に関しても, 自動車の規格の調査が必要と思わ  
れる。

## 3. 次回開催予定

平成 23 年 4 月 11 日, ドイツ国ミュンヘン市。

JICMA

[筆者紹介]  
出浦 淑枝 (コマツ)